



新機能

(2022年7月19日)

Mercury-LAVIS (2022年7月19日) の

新機能をご紹介します。

目次

新機能

Mercury-LAVIS

(2022年7月19日)

1 共通 P.1

1-1 図枠カスタマイズツールを追加	1
--------------------	---

2 管理プログラム P.2

2-1 事務支援をワンクリックで起動	2
2-2 複数データの一括バックアップ	3
2-3 Mercury-Evolutoのデータを、地籍計算CADにコンバート	3

3 公図 CAD (共通) P.4

3-1 SIMA出力コマンドを追加	4
3-2 杭種別ごとの設定、配置を拡張	5

4 公図 CAD (調査前) P.6

4-1 図郭の識別を拡張	6
4-2 立会設定の筆の選択方法を拡張	7
4-3 図郭単位での筆の選択、移動を改善	7
4-4 地番リストに立会日を表示	8

5 公図 CAD (調査後) P.9

5-1 配置済みの杭の移動、削除	9
5-2 筆登録を拡張	9

6 公図 CAD（街区調査） P.10

6-1	街区調査のデータを作成	10
-----	-------------	----

7 公図 CAD（調査 CAD） P.11

7-1	調査素図、調査図の地番情報の表示順を変更	11
7-2	注釈コマンドで調査素図、調査図の筆情報をまとめて選択	11
7-3	注釈出力時に「Z」の次の文字を出力	11
7-4	拡大図で観測記号、境界線訂正を連動	12
7-5	取り消し線、取り消し文字のレイヤを追加	12
7-6	権利文字を円文字で配置	13
7-7	Excelファイルの取り込みコマンドを追加	14
7-8	CAD要素の分解コマンドを追加	14
7-9	地番管理の構成辺属性（区切り線、鎖線）を図面に反映	14

8 地籍計算 CAD（共通） P.15

8-1	ジオタグ付き画像の読み込みに対応	15
8-2	背景画像としてラスタの読み込みを可能	16
8-3	法務省フォーマット形式のファイルを入出力	16
8-4	定面積分割アプリケーションを追加	17
8-5	路線地番交点計算アプリケーションを追加	17
8-6	面積調整を追加	17
8-7	座標、筆、図郭単位でファイルを管理	18
8-8	座標、筆、図郭へのファイルのリンク付けを拡張	18
8-9	公図CADの座標地番街区データの取り込みを可能	18
8-10	逆トラバース計算アプリケーションを追加	19
8-11	ST計算（検定）、経緯度座標変換（検定）アプリケーションを追加	19

9 地籍計算 CAD（地番管理） P.20

- 9-1 地番管理で事務支援の調査後のデータの取り込みを可能 _____ 20
- 9-2 事務支援側に地積を転送するときの動作を拡張 _____ 20
- 9-3 一筆詳細図の作成時に、面積一覧表の設定を追加 _____ 21
- 9-4 平均ジオイド高、平均縮尺係数の計算書を出力 _____ 22
- 9-5 トラバース計算、基準点測量に丸め条件を追加 _____ 22

10 地籍計算 CAD（CAD） P.23

- 10-1 座標地番と図面化したデータを比較突合した結果を表示 _____ 23
- 10-2 配置済みの筆の表示色の設定を拡張 _____ 23
- 10-3 地籍調査で使用する専用矢印を追加 _____ 24
- 10-4 注釈コマンドを拡張 _____ 24
- 10-5 注釈で抜き出した文字（情報）を一括削除 _____ 25
- 10-6 見出図を配置するコマンドを追加 _____ 25
- 10-7 地積測量図を作成するコマンドを追加 _____ 25
- 10-8 街区境界調査図を作成 _____ 26
- 10-9 街区境界調査明細図を作成 _____ 26
- 10-10 街区境界調査図一覧図を作成 _____ 26

11 事務支援（共通） P.27

11-1	既存データのマスター関連を取り込んで、新規地区データを作成	27
11-2	工程管理の機能（EXCELファイル出力）を追加	27
11-3	税務データと要約書CSVを取り込んで、データを作成	28
11-4	調査区域の状態を保持	29
11-5	外字設定の代替文字を拡張	29
11-6	地積の表示桁数を拡張	30
11-7	地区データへのログイン、ログアウトの情報をログに残す	30
11-8	管理されていない帳票データを削除	31

12 事務支援（相続関係図） P.32

12-1	別途管理している相続人データの取り込みを可能	32
12-2	図面およびテンプレートの用紙サイズを変更	32

13 事務支援（調査前） P.33

13-1	入力されているデータを要約書帳票形式で出力	33
13-2	既存データに要約書CSVを追加読み込みしたときの機能を拡張	34
13-3	調査前リストに、立会日、結果を表示	34
13-4	「???_ERR_BM.CSV」の要約書CSVの取り込みに対応	35
13-5	調査前の付属情報を、相続人、管理者、通知者に並べ替え	35

14 事務支援（調査後） P.36

14-1 異動処理で、「現地確認不能」を複数筆に一括設定	36
14-2 異動処理で、「地目変更」を複数筆に一括入力	37
14-3 郵便番号から住所を検索、設定	38
14-4 異動処理の一括取消	39
14-5 地積および地図番号の転送後に、転送結果の詳細情報を表示	39
14-6 異動事由毎に、複数の表示形態を保持	40
14-7 調査後では「別紙のとおり」ではなく、すべての異動処理を表示	41
14-8 複数筆の異動処理の訂正時に、異動処理自体を訂正	41
14-9 筆属性情報ファイル取り込みで、異動処理を考慮して転送	42
14-10 異動事由毎に異動事由の日付の表示設定を保持	42
14-11 異動処理が入力されていない筆を抽出	43

15 事務支援（街区調査） P.44

15-1 公有地に「なし」の設定を追加	44
---------------------	----

16 事務支援（人物） P.45

16-1 「死亡」を設定した人物データを管理者、通知者、相続人から除外	45
-------------------------------------	----

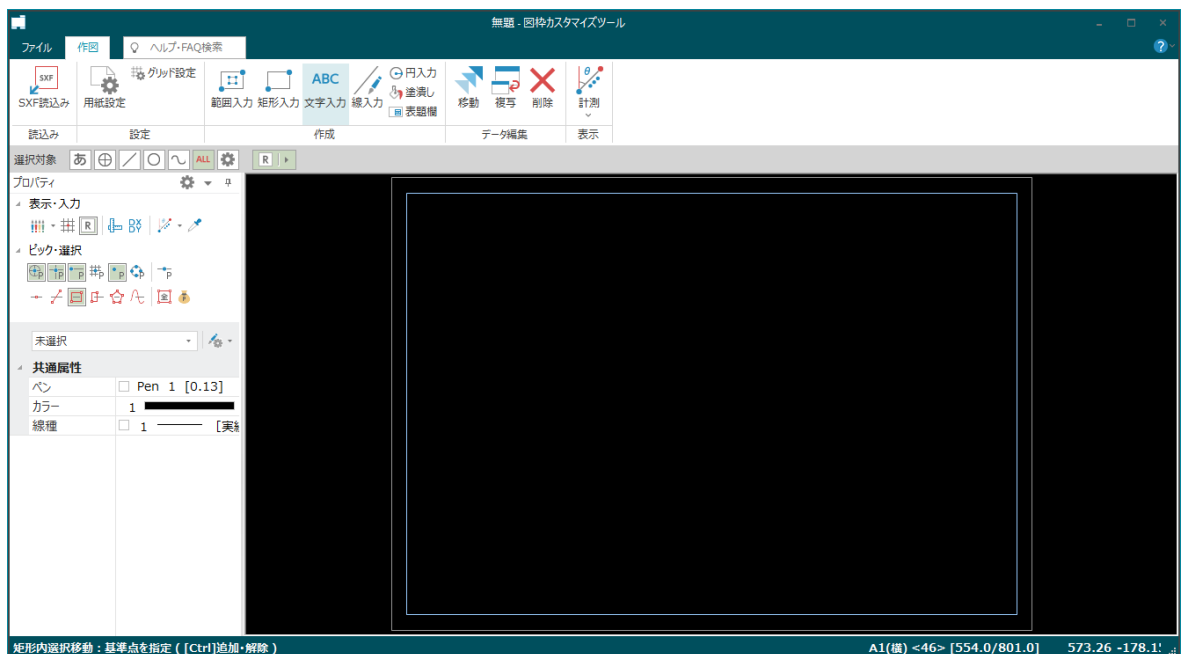
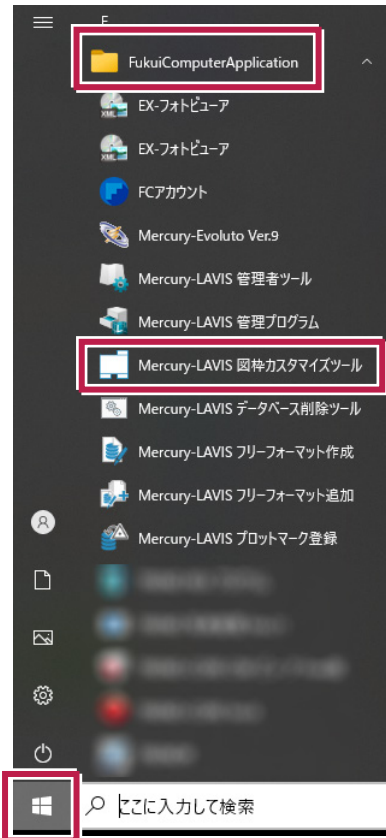
17 事務支援（帳票） P.46

17-1 立会に関する帳票出力の拡張	46
17-2 土地情報データ出力で共有者の場合には、共有者をすべて出力	46
17-3 結果閲覧表で所有者が共有者の場合、所有者名を拡張	47
17-4 街区調査の最新帳票を追加	47

1 共通

1-1 図枠カスタマイズツールを追加

「図枠カスタマイズツール」を追加しました。
各機能の詳細はヘルプを確認してください。



2 管理プログラム

2-1 事務支援をワンクリックで起動

事務支援をワンクリックで起動できるようにしました。

状態	地区名	開始期日	終了期日	作成日時	最終更新日時
	A地区	令和4年5月12日	令和4年5月12日	2022/05/12 17:32:05	2022/05/19 10:47:21
	TEST	令和4年5月16日	令和4年5月16日	2022/05/16 10:58:01	2022/05/16 10:58:01
	〇〇市調査区A (F、G工程)	令和3年6月2日	令和3年6月2日	2021/06/02 13:33:49	2022/06/13 14:26:30
	街区調査	令和4年6月6日	令和4年6月6日	2022/06/06 13:34:45	2022/06/24 12:02:11
	A地区	令和4年6月10日	令和4年6月10日	2022/06/10 11:50:31	2022/06/10 15:21:45
	〇〇市調査区A (E工程)	令和3年6月22日	令和3年6月22日	2021/06/22 17:54:05	2021/06/22 18:08:06

調査	調査区域	大字	小字	地番名	地目	地積 ㎡	登記住所	登記氏名	隣地	立会	フロ...	班名
	内	田	字〇西	913-1	19: 公衆用道路	33	東京都●●市					
	内	田	字〇西	914-1	3: 宅地	362.45	●●市●●田914番地	●村園雄				
	内	田	字〇西	914-2	3: 宅地	772.24	●●市●●田915番地	●崎美真				
	内	田	字〇西	915-3	3: 宅地	262.26	●●市●●町●●田915番地	●崎久夫				
	内	田	字〇西	916-2	3: 宅地	563.74	●●市●●田916番地	●山康作 外2名				
	内	田	字〇西	917-1	2: 畑	439	●●市●●田782番地	木●テル				
	内	田	字〇西	917-2	3: 宅地	437.44	●●市●●田917番地	●田仁				
	内	田	字〇西	917-3	2: 畑	293	●●市●●田787番地	●崎鉄之				
	内	田	字〇西	917-4	3: 宅地	198.34	●●市●●田917番地	●崎公一				
	内	田	字〇西	919-1	2: 畑	715	●●市●●田921番地	●中増吉				
	内	田	字〇西	920-1	2: 畑	908	●●市●●田921番地	●中増吉				
	内	田	字〇西	921-1	3: 宅地	1622.00	●●市●●田921番地	●中増吉				
	内	田	字〇西	922-1	3: 宅地	776.66	●●市●●田922番地	●木一季				

2-2 複数データの一括バックアップ

[ツール] - [バックアップ] - [地区 (一括)] を追加して、複数の地区を同時にバックアップできるようにしました。



2-3 Mercury-Evoluto のデータを、地籍計算 CAD にコンバート

[地区] - [Evolutoデータコンバート] を追加して、Evolutoのデータを、地籍計算CADにコンバートできるようにしました。



3 公図 CAD（共通）

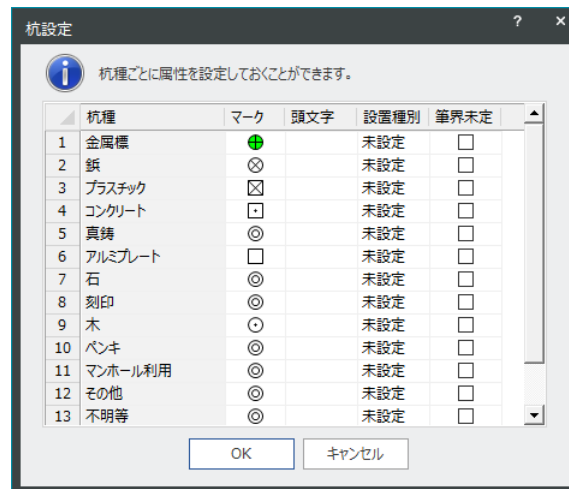
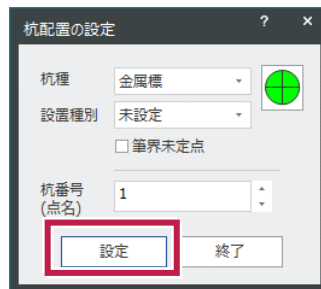
3-1 SIMA 出カコマンドを追加

〔調査前〕〔調査後〕に〔データ書込み〕グループ―〔座標地番SIMA〕〔座標地番SIMA〔JPGIS〕〕を追加しました。



3-2 杭種別ごとの設定、配置を拡張

【杭配置の設定】ダイアログに【設定】を追加して【杭設定】ダイアログで杭種別毎の設定を保持し、杭配置時に設定できるようにしました。



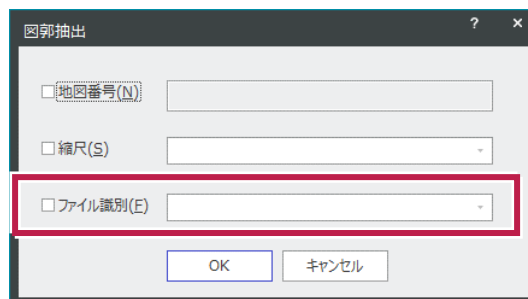
4 公図 CAD（調査前）

4-1 図郭の識別を拡張

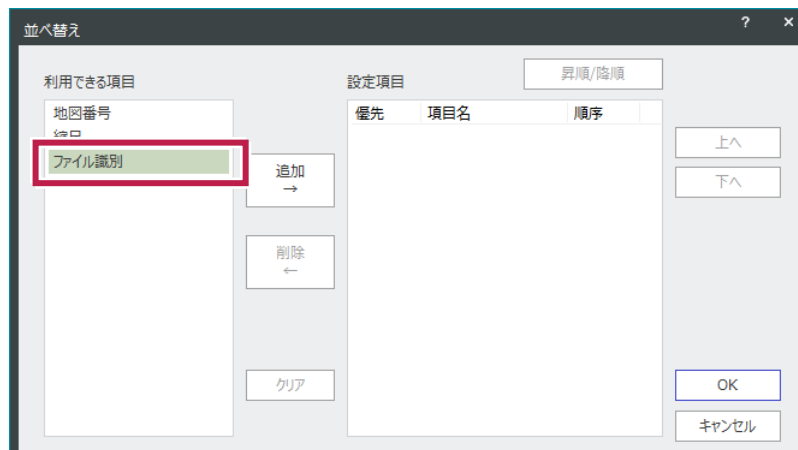
読み込んだ地図XMLファイルにおいて、ファイル単位で図郭を識別できるようにしました。

X座標	Y座標	地図番号	縮尺	図郭
-2979.742	-11	015-100	1/600	1:調査区A
-2978.930	-11	015-101	1/600	1:調査区A
-2995.112	-11	015-93	1/600	1:調査区A
-2996.739	-11	015-94	1/600	1:調査区A
-2986.603	-11	015-97	1/600	1:調査区A
-2983.076	-11	015-98	1/600	1:調査区A
-2980.002	-11	015-99	1/600	1:調査区A
-2797.349	-12			

【図郭の検索】ダイアログに【ファイル識別】を追加しました。



【並べ替え】ダイアログにも【ファイル識別】を追加しました。



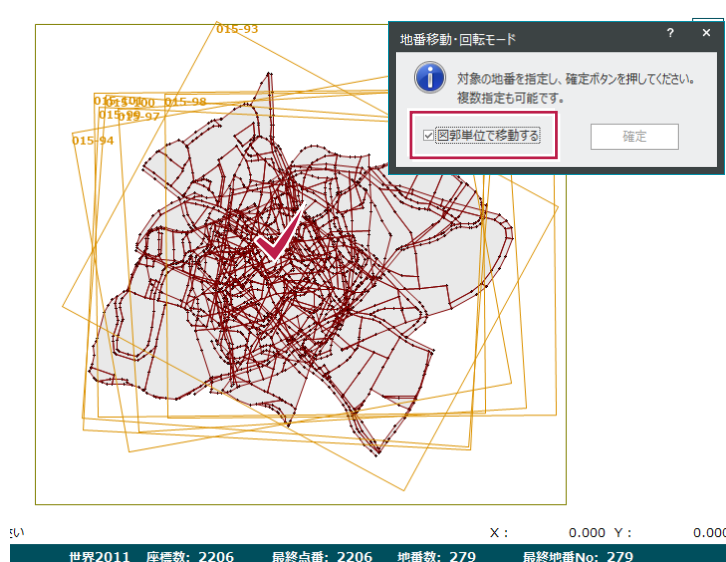
4-2 立会設定の筆の選択方法を拡張

[立会日程] ダイアログに [CADの選択モード] を追加して、筆を多角形選択で選択できるようにしました。



4-3 図郭単位での筆の選択、移動を改善

[データ編集] グループ - [地番] - [移動・回転] の [地番移動・回転モード] ダイアログに [図郭単位で移動する] チェックボックスを追加して、図郭単位で筆を移動できるようにしました。



4-4 地番リストに立会日を表示

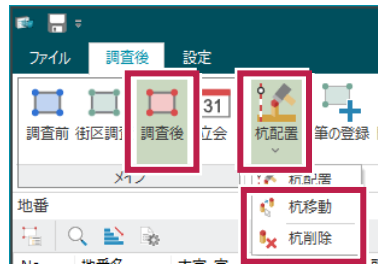
地番リストに、立会日を表示するようにしました。



5 公図 CAD（調査後）

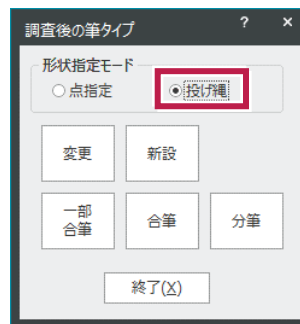
5-1 配置済みの杭の移動、削除

〔現地調査〕グループ－〔杭配置〕－〔杭移動〕〔杭削除〕を追加して、配置済みの杭を簡単に移動、削除できるようにしました。



5-2 筆登録を拡張

〔現地調査〕グループ－〔筆の登録〕の〔調査後の筆タイプ〕ダイアログに「投げ縄」を追加して、投げ縄方式で構成点を取得できるようにしました。



6 公図 CAD（街区調査）

6-1 街区調査のデータを作成

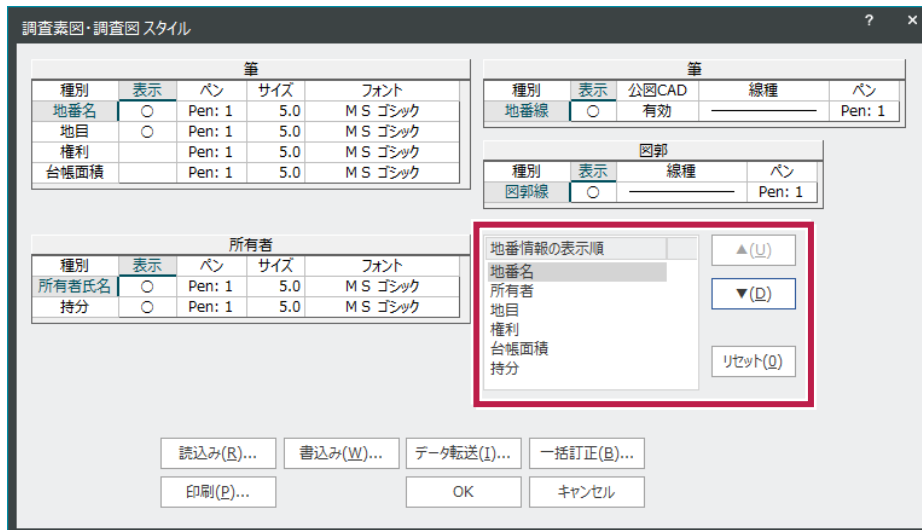
[メイン] グループに [街区調査] を追加して、事務支援と連携して街区調査のデータを作成できるようにしました。



7 公図 CAD（調査 CAD）

7-1 調査素図、調査図の地番情報の表示順を変更

〔調査素図・調査図スタイル〕ダイアログに〔地番情報の表示順〕を追加して、調査素図、調査図の地番情報の表示順を変更できるようにしました。



7-2 注釈コマンドで調査素図、調査図の筆情報をまとめて選択

〔専用作図〕タブー〔ツール〕グループー〔注釈〕コマンドで調査素図、調査図の地番情報をまとめて選択できるようにしました。

7-3 注釈出力時に「Z」の次の文字を出力

〔専用作図〕タブー〔ツール〕グループー〔注釈〕コマンドで注釈出力時に、「Z」の次の文字を出力できるようにしました。

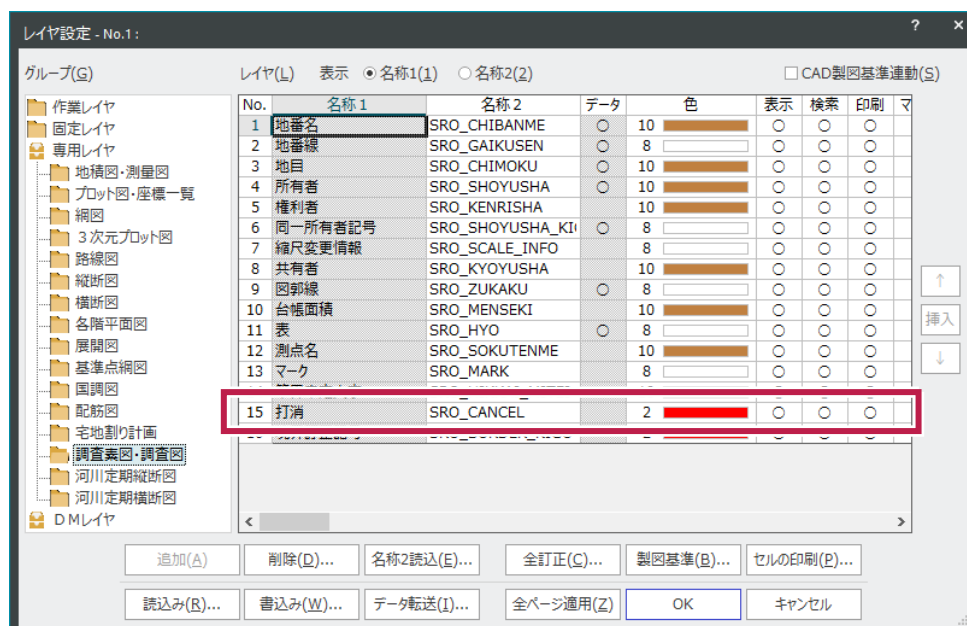
7-4 拡大図で観測記号、境界線訂正を連動

[専用作図] タブ [ツール] グループ [拡大図] コマンドの [部分拡大図条件設定] ダイアログに [部品を対象] チェックボックスを追加して、観測記号、境界線訂正を連動できるようにしました。



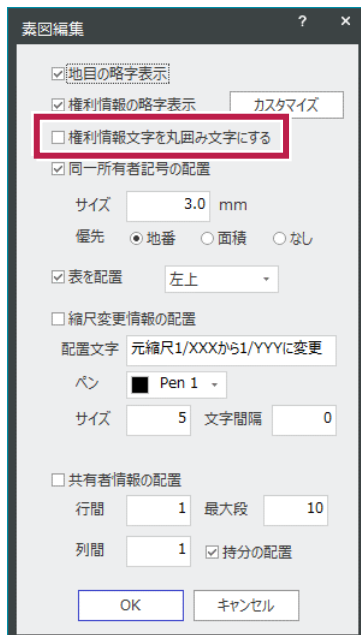
7-5 取り消し線、取消し文字のレイヤを追加

取り消し線、取消し文字のレイヤを追加しました。



7-6 権利文字を円文字で配置

[調査図配置] ダイアログの [素図作成条件]、[素図編集] ダイアログに [権利情報文字を丸囲み文字にする] チェックボックスを追加して、権利文字を円文字で配置できるようにしました。



7-7 Excelファイルの取り込みコマンドを追加

[ファイル] - [外部ファイル読み込み] - [EXCEL] コマンドを追加して、Excelファイルを取り込めるようにしました。



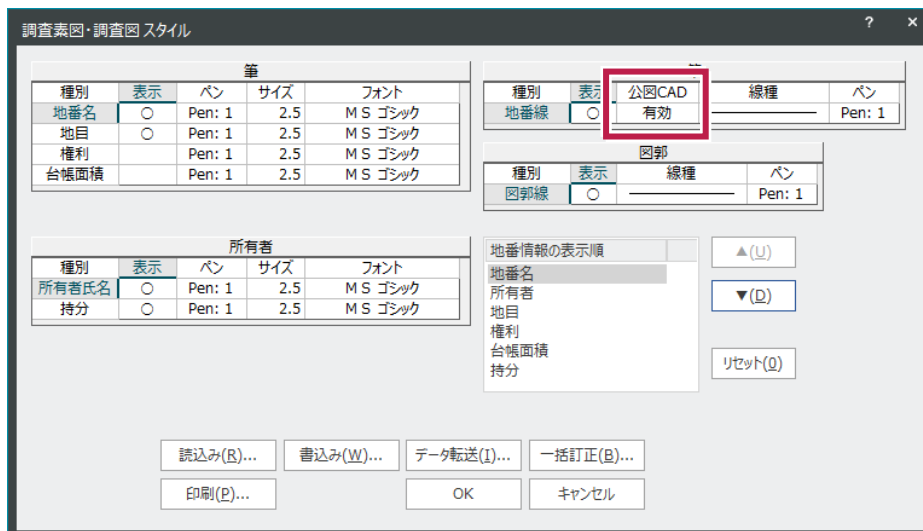
7-8 CAD要素の分解コマンドを追加

[データ編集] タブ - [基本編集] グループ - [分解] コマンドを追加して、CAD要素を分解できるようにしました。



7-9 地番管理の構成辺属性（区切り線、鎖線）を図面に反映

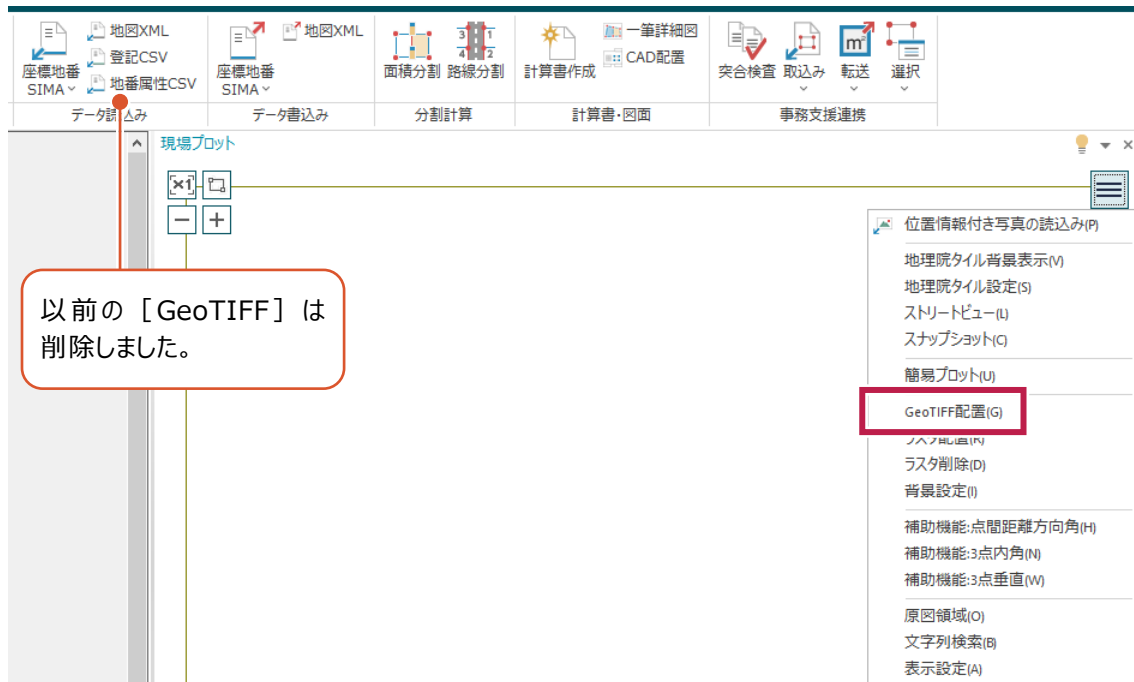
[調査素図・調査図スタイル] ダイアログの筆に [公図CAD] を追加して、地番管理の構成辺属性（区切り線、鎖線）を調査素図、調査図に反映できるようにしました。



8 地籍計算 CAD（共通）

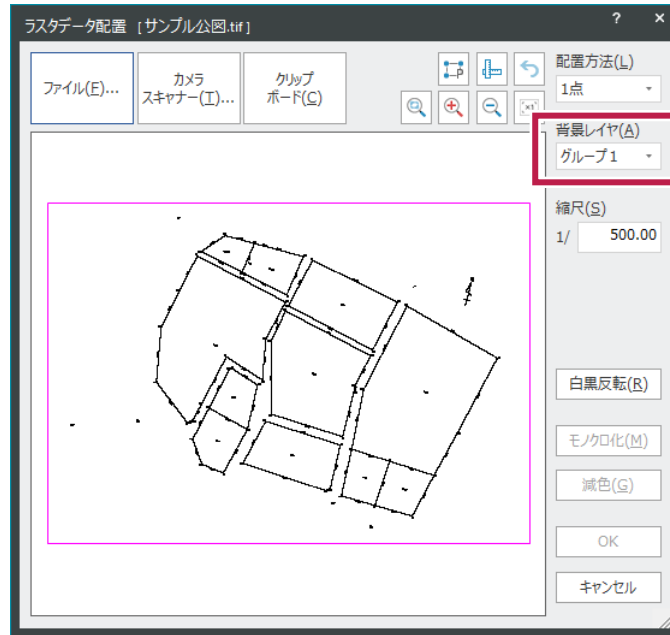
8-1 ジオタグ付き画像の読み込みに対応

現場プロットに [GeoTIFF配置] を追加して、ジオタグ付き画像の読み込みに対応しました。



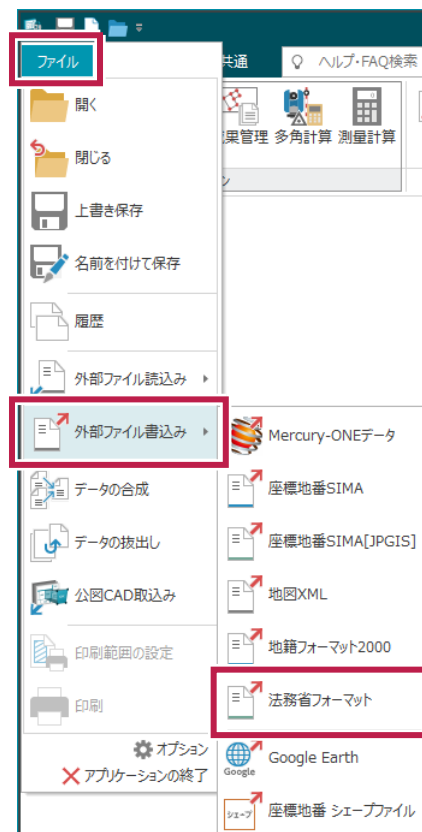
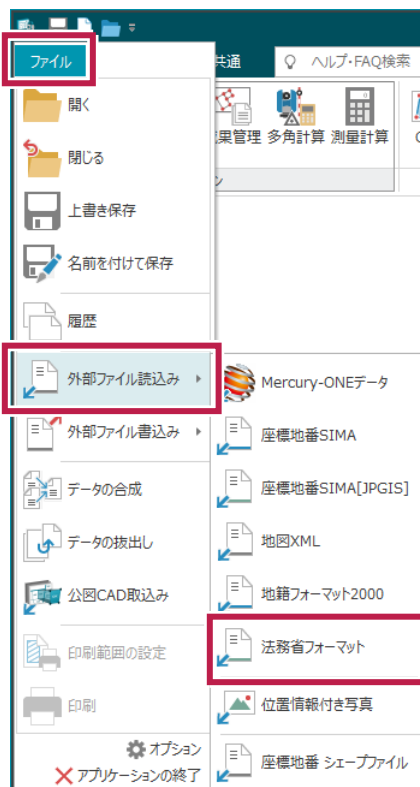
8-2 背景画像としてラスタの読み込みを可能

[ラスタデータ配置] ダイアログに [背景レイヤ] を追加して、背景画像としてラスタを読み込めるようにしました。表示のON/OFFも切り替えることができます。



8-3 法務省フォーマット形式のファイルを入出力

[ファイル] - [外部ファイル読み込み] - [法務省フォーマット]、[ファイル] - [外部ファイル書き込み] - [法務省フォーマット] を追加して、法務省フォーマット形式のファイルを入出力できるようにしました。



8-4 定面積分割アプリケーションを追加

〔測量計算〕の〔アプリケーション〕グループに〔定面積分割〕を追加しました。



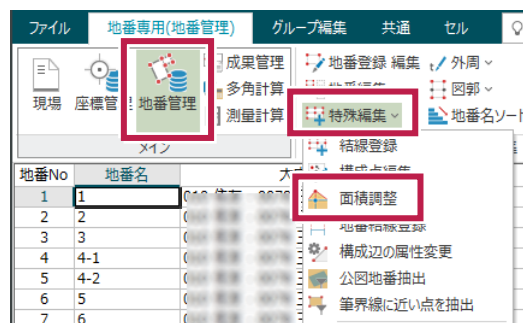
8-5 路線地番交点計算アプリケーションを追加

〔測量計算〕の〔アプリケーション〕グループに〔路線地番交点計算〕を追加しました。



8-6 面積調整を追加

〔地番管理〕の〔地番編集〕グループー〔特殊編集〕－〔面積調整〕を追加して、面積を調整できるようにしました



8-7 座標、筆、図郭単位でファイルを管理

[メイン] グループに [成果管理] を追加して、座標、筆、図郭単位でファイルを管理できるようにしました。

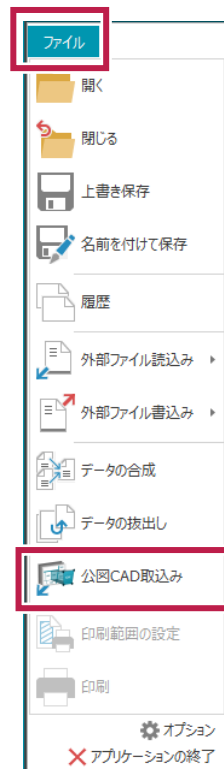


8-8 座標、筆、図郭へのファイルのリンク付けを拡張

[成果管理] でファイルを座標、筆、図郭にリンク付けするとき、命名規則に合わせてファイルを取り込めるようになりました。

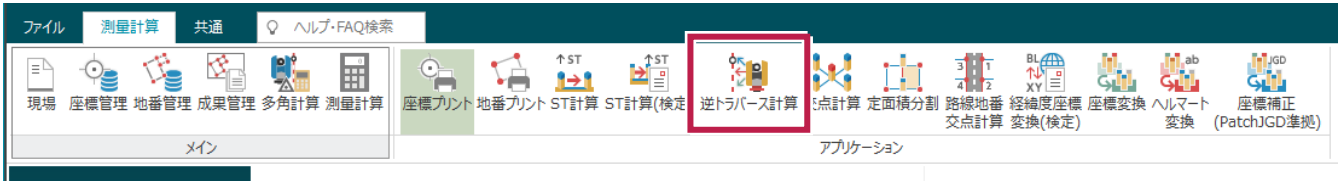
8-9 公図 CAD の座標地番街区データの取り込みを可能

[ファイル] - [公図CAD取込み] を追加して、公図CADの座標地番街区データを、地籍計算CADに取り込めるようになりました。



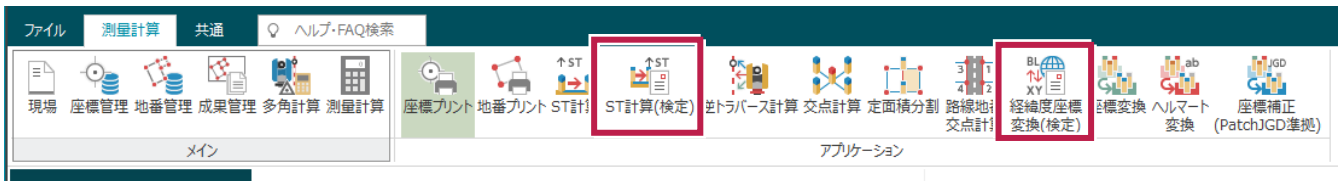
8-10 逆トラバース計算アプリケーションを追加

〔測量計算〕の〔アプリケーション〕グループに〔逆トラバース計算〕を追加しました。



8-11 ST計算（検定）、経緯度座標変換（検定）アプリケーションを追加

〔測量計算〕の〔アプリケーション〕グループに〔ST計算（検定）〕〔経緯度座標変換（検定）〕を追加しました。



9 地籍計算 CAD（地番管理）

9-1 地番管理で事務支援の調査後のデータの取り込みを可能

〔地番管理〕に〔事務支援連携〕グループ―〔選択〕―〔調査前〕〔調査後（調査前地番検索）〕〔調査後（調査後地番検索）〕を追加して、事務支援の調査後のデータを取り込めるようにしました。



9-2 事務支援側に地積を転送するときの動作を拡張

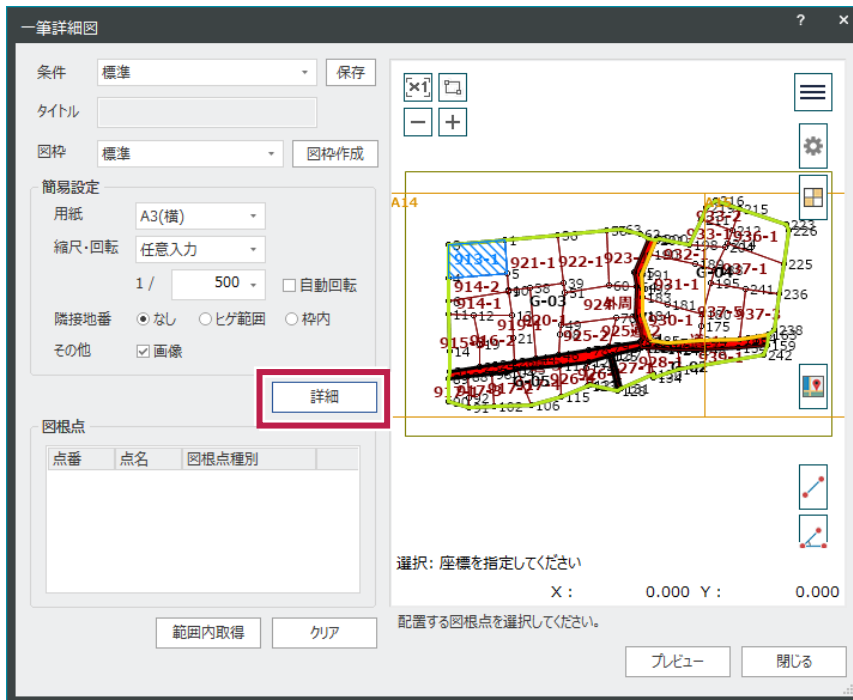
〔地番管理〕に〔事務支援連携〕グループ―〔転送〕―〔転送設定〕を追加して、事務支援側に地積を転送するとき、分合筆等を考慮して転送するようにしました。



9 - 3

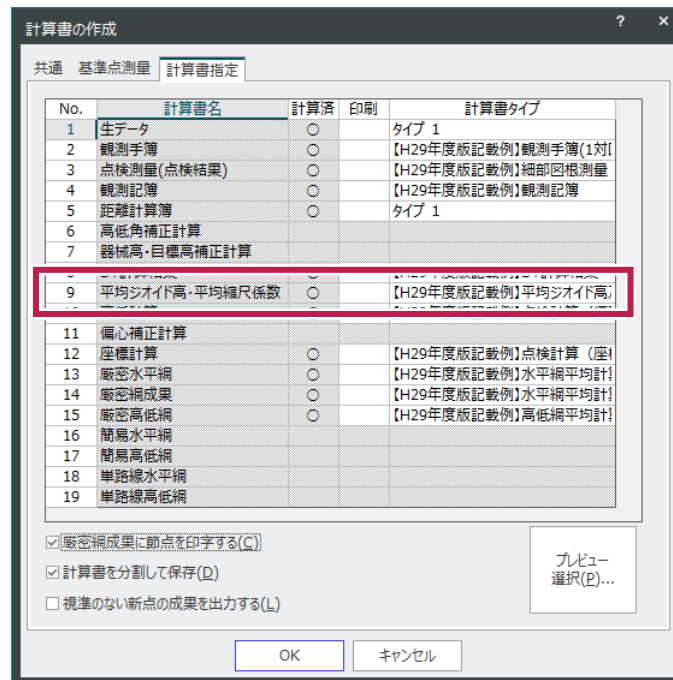
一筆詳細図の作成時に、面積一覧表の設定を追加

【一筆詳細図】ダイアログの【詳細】の【詳細設定】ダイアログに【面積一覧】を追加しました。



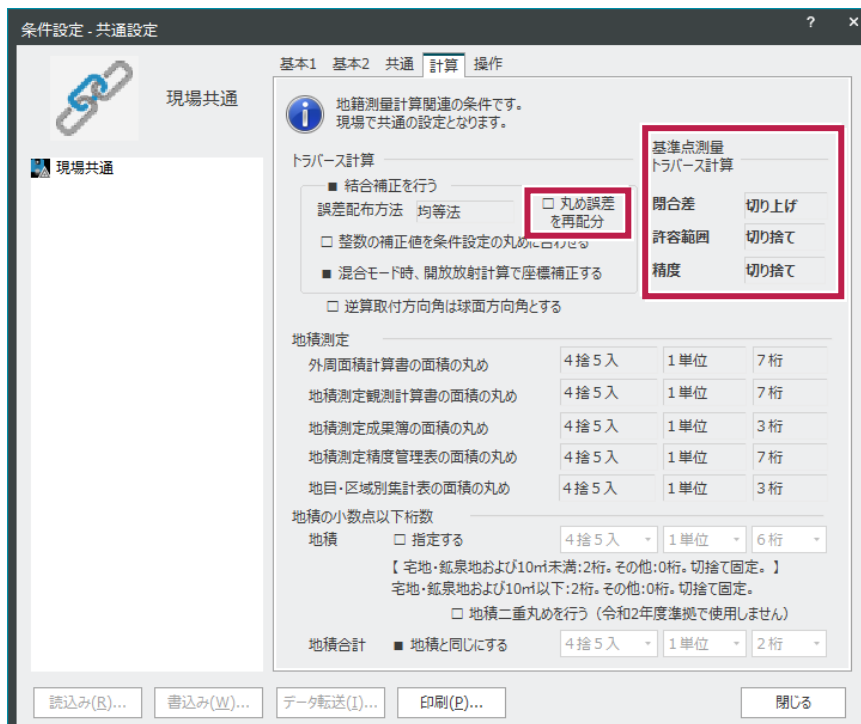
9-4 平均ジオイド高、平均縮尺係数の計算書を出力

基準点測量の「計算書の作成」ダイアログの「計算書指定」に「平均ジオイド高・平均縮尺係数」を追加して、平均ジオイド高、平均縮尺係数の計算書を出力できるようにしました。



9-5 トラバース計算、基準点測量に丸め条件を追加

「条件設定 - 共通設定」ダイアログの「計算」にトラバース計算、基準点測量の丸め条件を追加しました。



10 地籍計算 CAD (CAD)

10-1 座標地番と図面化したデータを比較突合した結果を表示

[専用作図] タブー [ツール] グループー [地番情報図面照合] を追加して、座標地番と図面化したデータを比較突合した結果を表示するようにしました。



10-2 配置済みの筆の表示色の設定を拡張

[汎用作図] タブー [点・領域] グループー [地番塗潰し (現場参照)] を [地番塗潰し] に変更して、配置済みの筆の表示色を、現場プロットとは異なる色で塗り潰しできるようにしました。



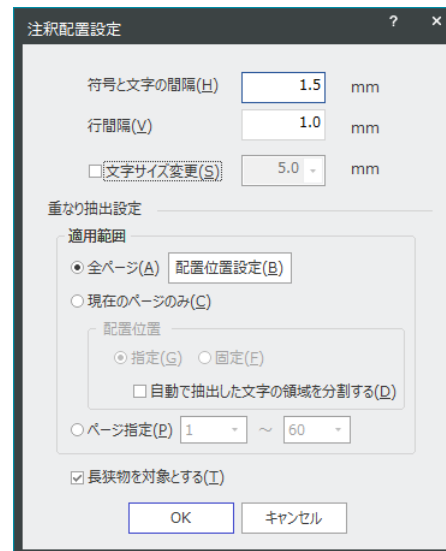
10-3 地籍調査で使用する専用矢印を追加

[専用作図] タブ [地籍図専用ツール] - [矢印] を追加して、地籍調査で使用する専用矢印を描画できるようにしました。



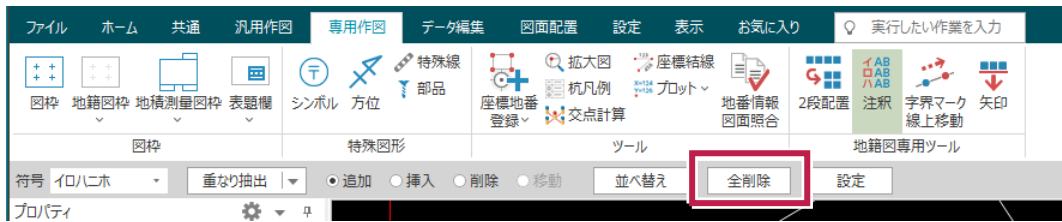
10-4 注釈コマンドを拡張

[専用作図] タブ [地籍図専用ツール] - [注釈] の入力バーに [設定] ボタンを追加して、注釈の配置位置を設定できるようにしました。



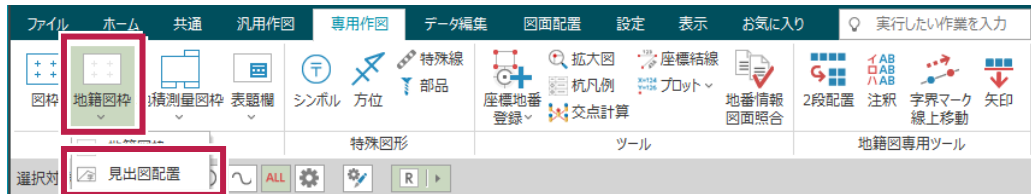
10-5 注釈で抜き出した文字（情報）を一括削除

〔専用作図〕タブー〔地籍図専用ツール〕－〔注釈〕のインプットバーに〔全削除〕ボタンを追加して、注釈で抜き出した文字（情報）を一括で削除できるようにしました。



10-6 見出図を配置するコマンドを追加

〔専用作図〕タブー〔図枠〕グループー〔地籍図枠〕－〔見出図配置〕を追加しました。



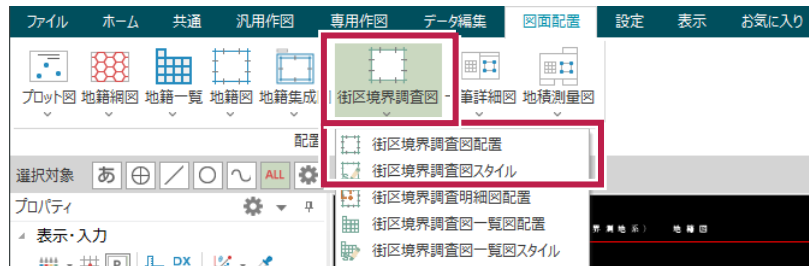
10-7 地積測量図を作成するコマンドを追加

〔図面配置〕タブー〔配置〕グループー〔地積測量図〕－〔地積測量図配置〕〔地積測量図スタイル〕〔地積測量図一筆配置〕を追加しました。



10-8 街区境界調査図を作成

〔図面配置〕タブー〔配置〕グループー〔街区境界調査図〕ー〔街区境界調査図配置〕〔街区境界調査図スタイル〕を追加しました。



10-9 街区境界調査明細図を作成

〔図面配置〕タブー〔配置〕グループー〔街区境界調査図〕ー〔街区境界調査明細図配置〕を追加しました。



10-10 街区境界調査図一覧図を作成

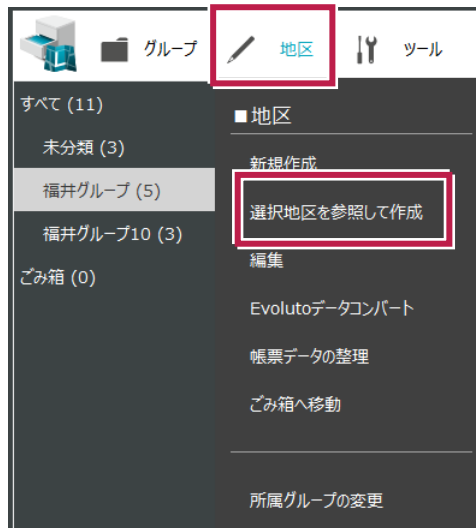
〔図面配置〕タブー〔配置〕グループー〔街区境界調査図〕ー〔街区境界調査図一覧図配置〕〔街区境界調査図一覧図スタイル〕を追加しました。



11 事務支援（共通）

11-1 既存データのマスター関連を取り込んで、新規地区データを作成

〔地区〕 - 〔選択地区を参照して作成〕を追加して、新規地区データ作成時に、既存データのマスター関連を取り込めるようにしました。



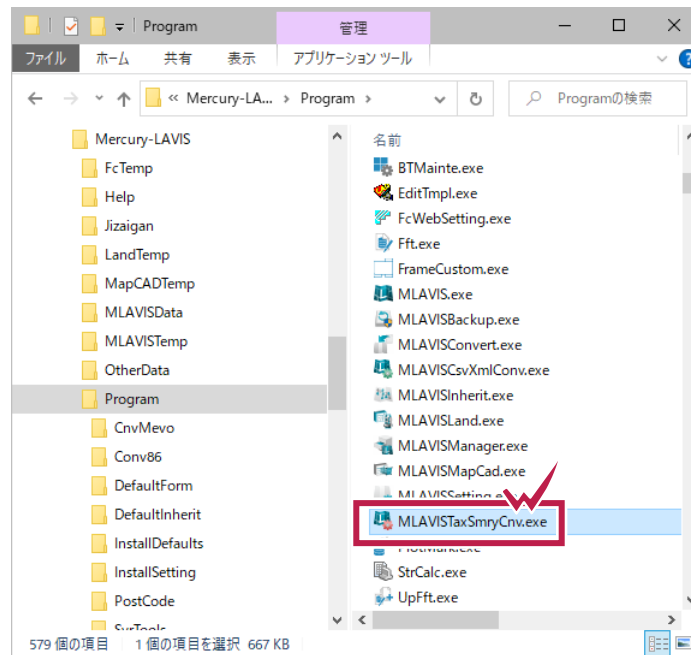
11-2 工程管理の機能（EXCEL ファイル出力）を追加

〔ツール〕 - 〔工程管理・検査記録表〕を追加して、工程管理の機能（EXCELファイル出力）を実装しました。



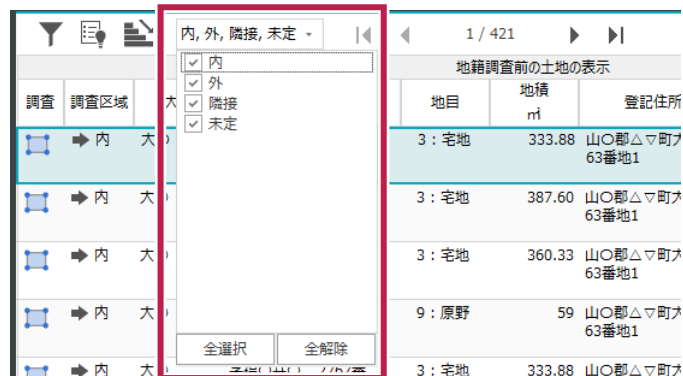
11-3 税務データと要約書 CSV を取り込んで、データを作成

「インストール先フォルダ¥Program¥MLAVISTaxSummaryConv.exe」を追加して、税務データと要約書CSVを取り込んで、データを作成できるようにしました。



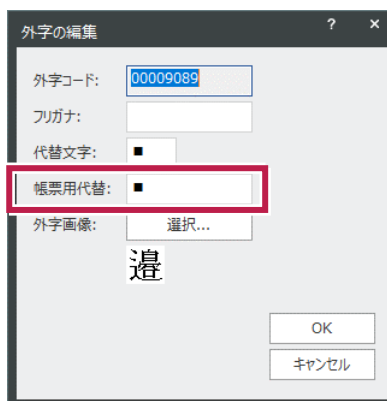
11-4 調査区域の状態を保持

調査区域を画面上部に表示して、状態を保持するようにしました。



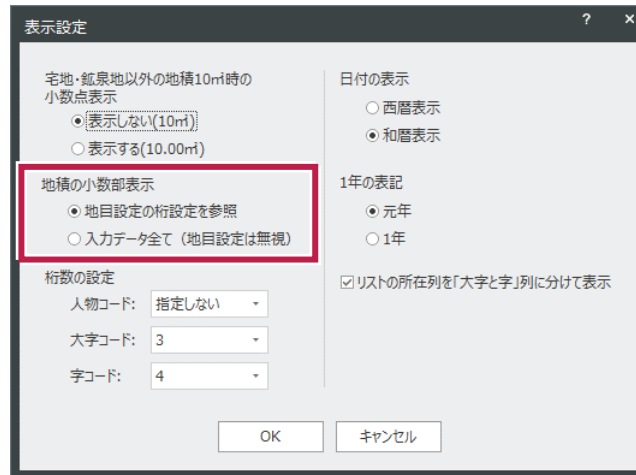
11-5 外字設定の代替文字を拡張

【外字の編集】ダイアログに【帳票用代替】を追加しました。



11-6 地積の表示桁数を拡張

[表示設定] ダイアログに [地積の小数部表示] を追加しました。



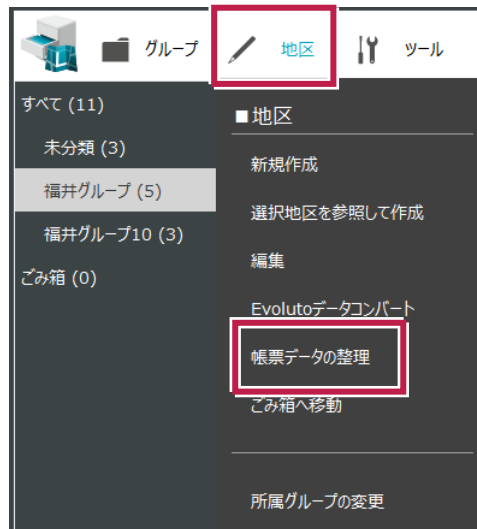
11-7 地区データへのログイン、ログアウトの情報をログに残す

[ツール] - [作業ログ] を追加して、地区データへのログイン、ログアウトの情報をログに残すようにしました。



11-8 管理されていない帳票データを削除

[地区] - [帳票データの整理] を追加して、データ管理プログラムで管理されていない帳票（作成したが保存していない帳票）データを削除できるようにしました。



12 事務支援（相続関係図）

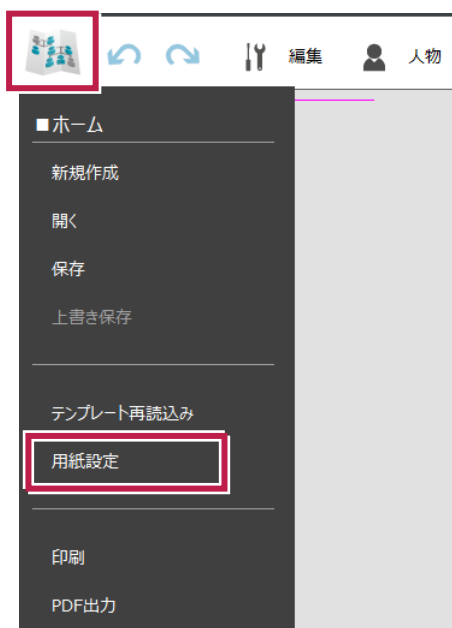
12-1 別途管理している相続人データの取り込みを可能

【人物】 - 【人物データの取込み】を追加して、別途管理している相続人データ（CSV形式）を取り込めるようにしました。



12-2 図面およびテンプレートの用紙サイズを変更

【ホーム】 - 【用紙設定】を追加して、図面およびテンプレートの用紙サイズを、変更できるようにしました。



13 事務支援（調査前）

13-1 入力されているデータを要約書帳票形式で出力

[調査前] - [書込み] - [データ一覧Excel] [登記事項要約書Excel]、[人物] - [書込み] - [データ一覧Excel] を追加して、入力されているデータを要約書帳票形式で出力できるようにしました。



13-2 既存データに要約書 CSV を追加読み込みしたときの機能を拡張

【読み込み設定】ダイアログなどを改善して、既存データに対して、要約書 CSV を追加読み込みしたときの機能を拡張しました。



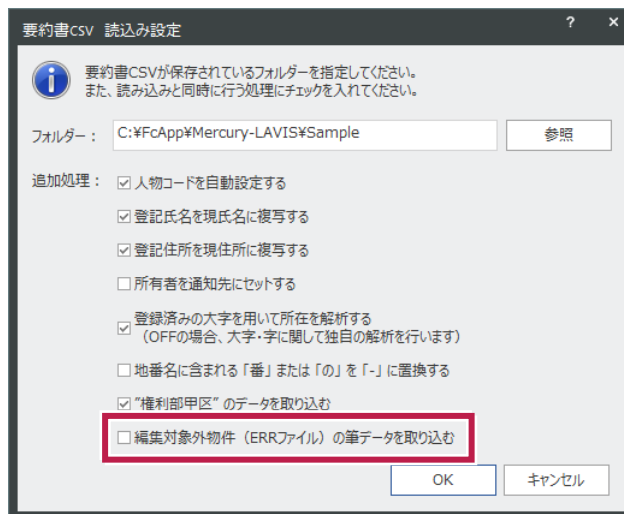
13-3 調査前リストに、立会日、結果を表示

調査前リストに、立会日、結果を表示するようにしました。

調査	調査区域	大字	小字	地番名	地目	地積 m ²	登記住所	登記氏名	隣地	立会
<input checked="" type="checkbox"/>	内	●田	字○西	922-1	3: 宅地	776.66	●●市●田922番地	●木一孝		7/6 9:00 未確認
<input checked="" type="checkbox"/>	内	●田	字○西	923-1	3: 宅地	976.12	●●市●田923番地	●木健司		

13-4 「???_ERR_BM.CSV」の要約書 CSV の取り込みに対応

[要約書 CSV 読み込み設定] ダイアログに [編集対象外の物件 (ERRファイル) の筆データを取り込む] チェックボックスを追加して、「???_ERR_BM.CSV」の要約書 CSVを取り込めるようにしました。



13-5 調査前の付属情報を、相続人、管理者、通知者に並べ替え

調査前の付属情報でのリストの順序を、「管理者、通知先、相続人」から「相続人、管理者、通知先」に並べ替えました。



14 事務支援（調査後）

14-1 異動処理で、「現地確認不能」を複数筆に一括設定

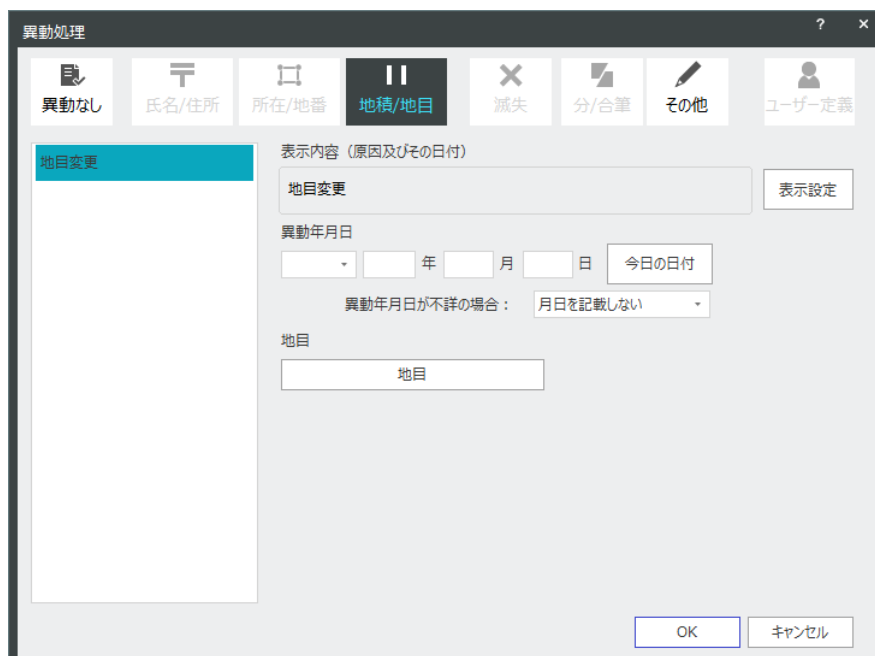
複数筆を選択した状態で、右クリックの「異動処理2」 - 「その他」（または画面下の「異動処理」）を選択できるようにしました。

The screenshot shows a software interface for land management. At the top, there are tabs for '調査前', '街区調査', '調査後', '帳票', and '閲覧'. Below the tabs is a search bar and a table of land parcels. The table has columns for '調査...', '大字', '小字', '地番名', '地目', '地積 m', '登記住所', and '登記氏名'. A context menu is open over the table, showing options for '異動処理1' and '異動処理2'. The 'その他' option under '異動処理2' is highlighted with a red box. Below the table, there are sections for '管理者 (調査前)', '管理者 (調査後)', and '異動処理'. The '異動処理' button in the bottom toolbar is also highlighted with a red box.

The screenshot shows the '異動処理' dialog box. The 'その他' option is selected, and the '表示内容 (原因及びその日付)' section is visible. The '表示内容' section has a text input field containing '現地確認不能(現況道路)' and a '表示設定' button. Below this, there are dropdown menus for '現況地目' (set to '現況道路'), '現地の状況', and '長狭物内・外'. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

14-2 異動処理で、「地積/地目」を複数筆に一括入力

複数筆を選択した状態で、右クリックの [異動処理1] - [地積/地目] (または画面下の [異動処理]) を選択できるようにしました。



14-3 郵便番号から住所を検索、設定

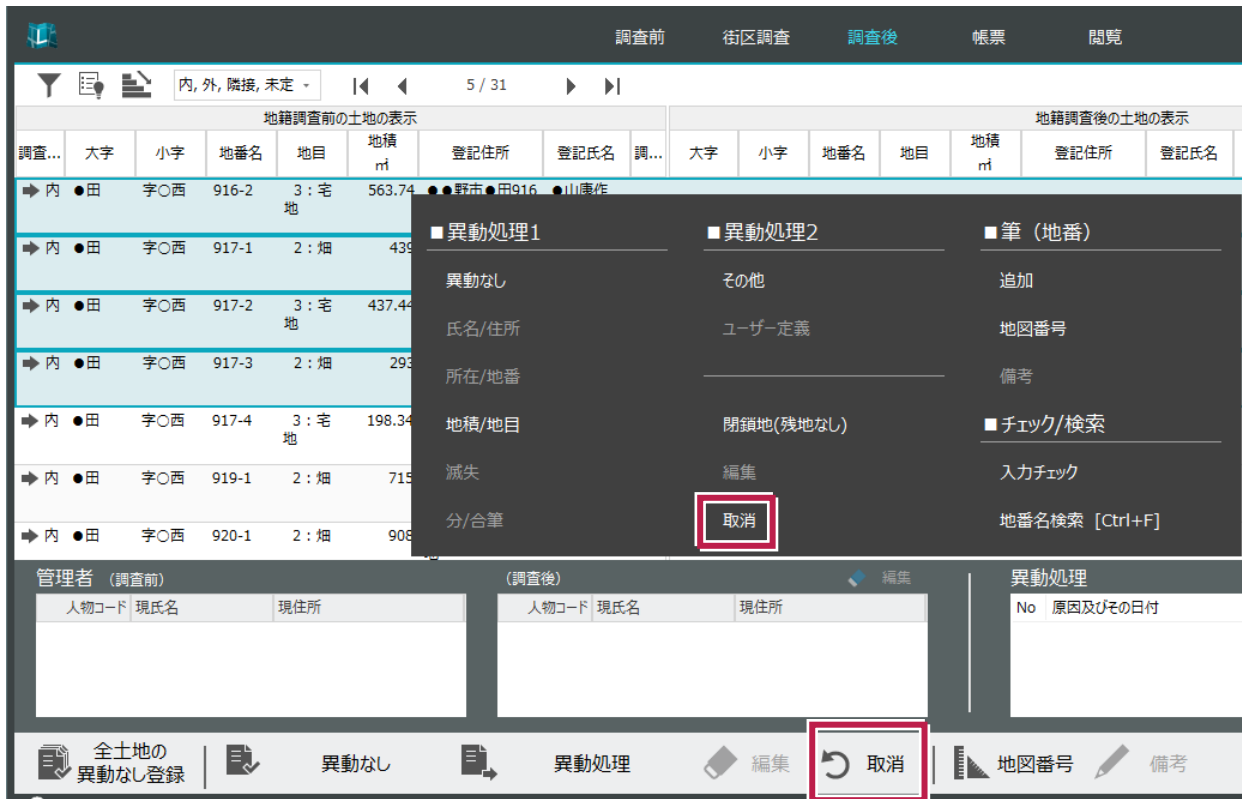
[異動処理] ダイアログの [氏名/住所] の [住居表示実施] [行政区画変更] に [郵便番号] を追加して、郵便番号から住所を検索、設定できるようにしました。

郵便番号を入力すると住所が表示されます。

スポイトをクリックして、都道府県、市区町村から住所を選択することもできます。

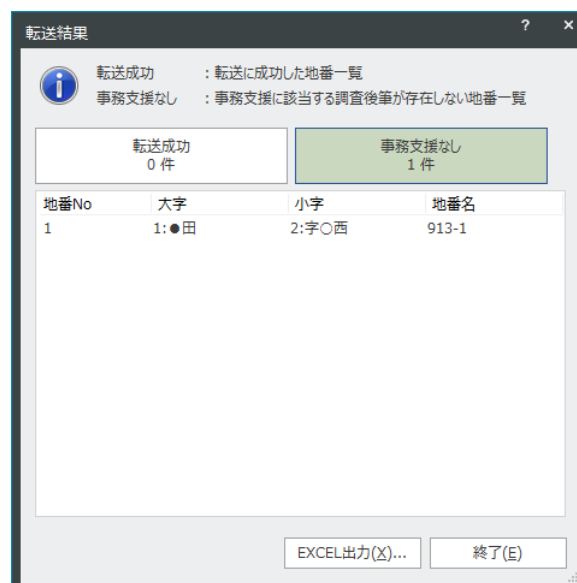
14-4 異動処理の一括取消

複数筆を選択した状態で、右クリックの[異動処理2] - [取消]（または画面下の[取消]）を選択できるようにしました。



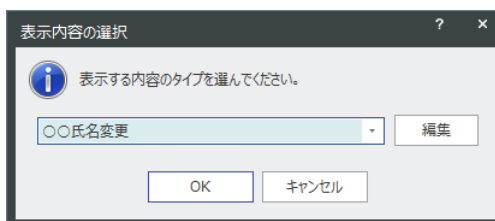
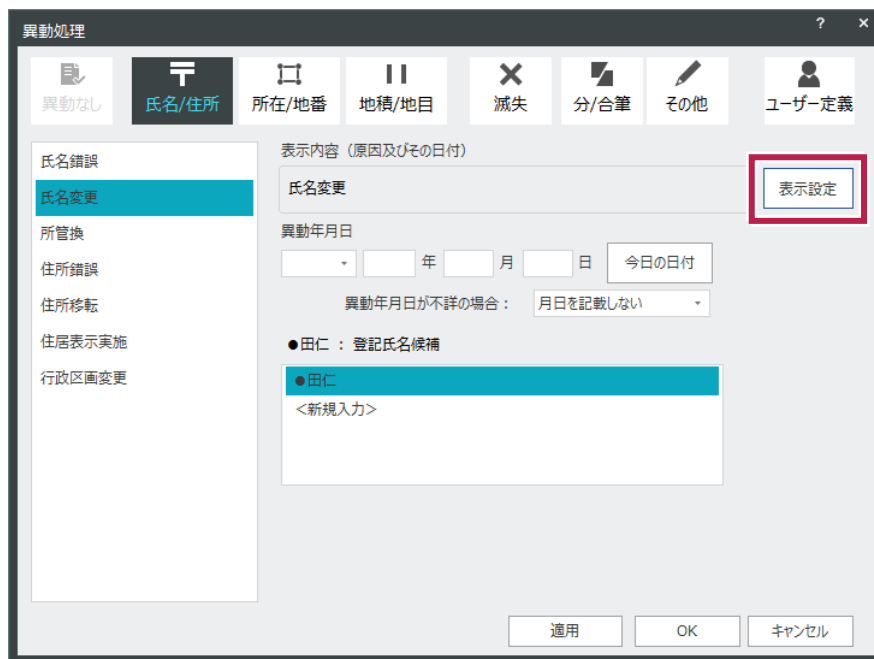
14-5 地積および地図番号の転送後に、転送結果の詳細情報を表示

[地積計算CAD] - [地番専用 (地番管理)] - [事務支援連携] グループ [転送] - [地積] [地番番号] で地積および地図番号の転送後に、転送結果の詳細情報を表示するようにしました。



14-6 異動事由毎に、複数の表示形態を保持

[異動処理] ダイアログの [表示設定] ボタンから [表示内容の選択] ダイアログを表示して、表示する内容のタイプを選択できるようにしました。



14-7 調査後では「別紙のとおり」ではなく、すべての異動処理を表示

異動処理で氏名、住所等を行うと、「別紙のとおり」という表示になりますが、調査後画面ではすべての異動処理を表示するようにしました。

地籍調査後の土地の表示

大字	小字	地番名	地目	地積 ㎡	登記住所	登記氏名	
本郷	字磯部	600	2 : 畑	300	共有者 星野保の住所 Z Z	共有者 星野保の氏名 ああ 共有者 井上久治郎の氏名	氏名錯誤 住所錯誤 氏名錯誤

別紙の通りの場合、空白だったが、
全て表記するように変更

編集

異動処理

No	原因及びその日付
1	氏名錯誤
2	住所錯誤
3	氏名錯誤

14-8 複数筆の異動処理の訂正時に、異動処理自体を訂正

異動処理において、複数筆の異動処理の訂正時は、文字列しか変更できませんでしたが、異動処理自体を訂正できるようにしました。（下画面例：～に分筆の場合）

異動訂正 - ～に分筆

表示内容（原因及びその日付）

916-2、916-3に分筆 表示設定

分筆数 ※リストの並び順は、表示内容（原因及びその日付）に反映されます。

地番	地目	地積	
916-2	3 : 宅地	0.00	追加
916-3	3 : 宅地	0.00	削除

上へ
下へ

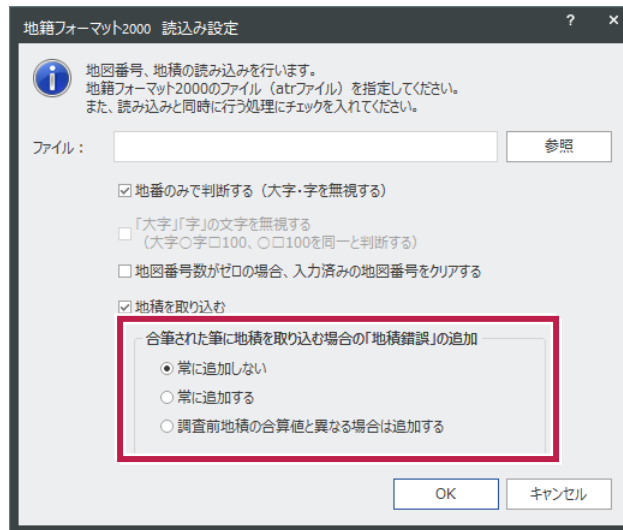
元筆情報

地目 地積 ㎡

OK キャンセル

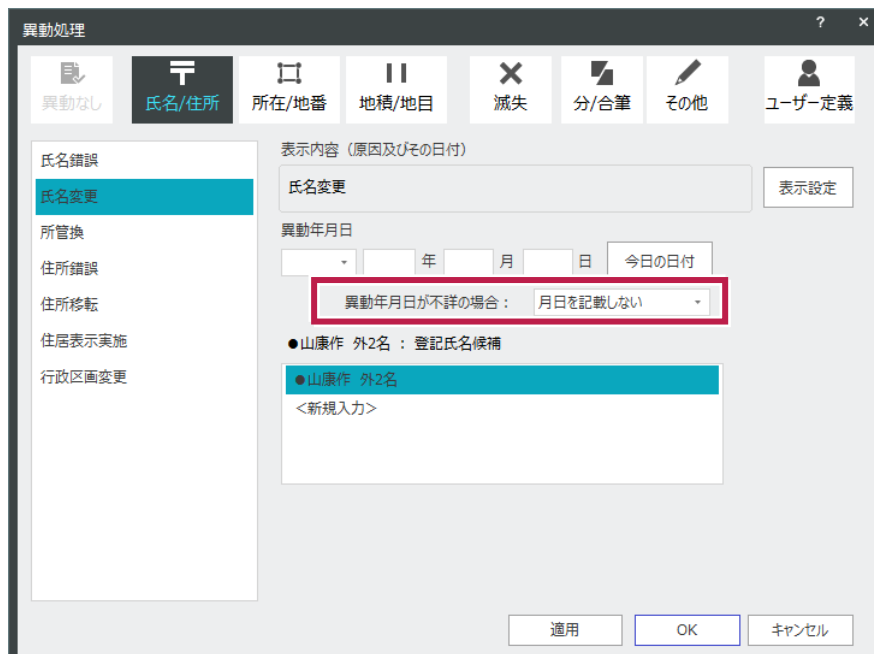
14-9 筆属性情報ファイル取り込みで、異動処理を考慮して転送

[調査後] - [読み込み] - [筆属性情報ファイル] の [地籍フォーマット2000 読み込み設定] ダイアログに [合筆された筆に地積を取り込む場合の「地積錯誤」の追加] を追加して、地積を転送するとき事務支援の異動処理（分合筆等）を考慮して転送するようにしました。



14-10 異動事由毎に異動事由の日付の表示設定を保持

異動事由の日付表示設定を、異動事由毎に前回値を保持するようにしました。



14-11 異動処理が入力されていない筆を抽出

画面左上に抽出を追加して、調査後ステージにおいて、異動処理が入力されていない筆を抽出できるようにしました。

The screenshot displays the Mercury-LAVIS software interface. The top navigation bar includes '調査前' (Before Survey), '街区調査' (Block Survey), '調査後' (After Survey), '帳票' (Forms), and '閲覧' (View). The main window shows a list of land parcels with columns for '調査前' and '調査後'. A '抽出' (Extract) button is highlighted in the top left. A 'フィルター-ON' (Filter ON) button is also visible. The search criteria on the left include '調査対象' (Search Target) set to '調査後' (After Survey) and '異動処理' (Movement Processing) with a '選択...' (Select...) button. A dialog box titled '異動処理の選択' (Select Movement Processing) is open, showing a list of checkboxes for various processing types. The checkbox for '異動処理 (未実施)' (Movement Processing (Not Implemented)) is checked and highlighted with a red box. The bottom status bar shows the user '福井 太郎 [管理者]' (Fukui Taro [Admin]) and the system name 'Mercury-LAVIS - 街区調査'.

15 事務支援（街区調査）

15-1 公有地に「なし」の設定を追加

〔公有地〕の〔入力方法〕に「なし」を追加しました。

街区データの追加

調査日 未設定

街区番号 G-03

街区調査図番号

境界点番号

民地

登録筆選択

所在 001 0002 : ●田字○西

地番名 914-1

地目 3 : 宅地

地積 362.45 m2

所有者名 ●村○雄

所有者住所 ●●市●田914番地

公有地

入力方法

なし

新規入力

登録筆選択

公有地リスト選択

所在

地番名

地目 地目

地積 m2

所有者名

所有者住所

公有地の変更

入力方法

なし

新規入力

登録筆選択

公有地リスト選択

所在

地番名

地目 未設定

地積 m2

所有者名

所有者住所

16 事務支援（人物）

16-1 「死亡」を設定した人物データを管理者、通知者、相続人から除外

人物マスターで「死亡」を設定した人物データを、既に設定されている管理者、通知者、相続人から除外するようにしました。

17 事務支援（帳票）

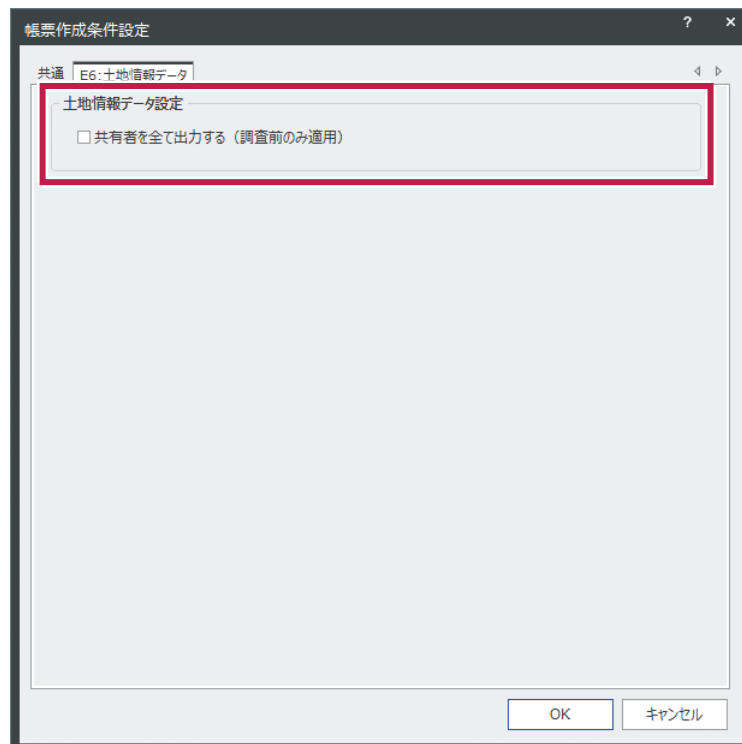
17-1 立会に関する帳票出力の拡張

立会に関する以下の帳票を追加しました。

- ・E5：立会送付者リスト
- ・E5：立会日程表（立会日時指定）
- ・E6：共有者データリスト
- ・E5：立会通知書（立会日時指定）
- ・E4：法務局照会地番一覧表
- ・E4：調査前所有者一覧
- ・E4：土地登記簿一覧

17-2 土地情報データ出力で共有者の場合には、共有者をすべて出力

〔帳票作成条件設定〕ダイアログの〔E6：土地情報データ〕タブに〔共有者を全て出力する（調査前のみ適用）〕チェックボックスを追加して、土地情報データ出力で、共有者の場合は、共有者をすべて出力できるようにしました。



17-3 結果閲覧表で所有者が共有者の場合、所有者名を拡張

〔H5：結果閲覧表〕において、所有者が共有者の場合は、〇〇外〇名を、名寄せで対象となる人物を代表者として所有者名を作成して出力できるようにしました。

共有者の場合の氏名の形式は、〔帳票作成条件設定〕ダイアログの〔H5：結果閲覧表〕タブの〔共有の場合の氏名の形式〕で選択できます。

帳票作成条件設定

共通 H5: 結果閲覧表

合筆閉鎖地で、異動を行った場合の表示

所在 地番 地目 面積 所有者

分筆した新地の表示

所在 地番 地目 面積 所有者

共有の場合の氏名の形式

代表者+外〇名 各共有者+外〇名

「〜に合筆」に「-----」を記載
(※上記設定の「合筆閉鎖地で、異動を行った場合の表示」は、所有者以外「-----」表示となります。)

「全ての筆」に所在・地番・地目・面積・所有者を記載 (※閉鎖地・分筆新地は除く)

「異動なし」の場合に調査後の面積を記載

異動事項欄の1行当たりの半角文字数を指定する

地図番号行数:

筆の並べ替え設定...

OK キャンセル

17-4 街区調査の最新帳票を追加

街区調査の最新帳票を追加しました。

- ・境界調査票（現地調査）
- ・境界調査票（データ出力）
- ・境界調査票綴
- ・確認書（様式第4号）